

口腔内写真は患者さんへの説明に最適なツールです。患者さん自身に病状を把握して理解していただくことは、治療において一番大切なことです。ほとんどの患者さんにとって、今まで自分では見ることができなかった角度でお口の中を見ることができるのですから、治療の理解が深まります。歯並びの状態、歯茎の状態など術前と術後の状態を比較するなど言葉で説明するよりも、短時間で確実に理解していただくことができます。「百聞は一見にしかず」です。

「 デジタル口腔内カメラ 」

みまつ渡辺歯科医院では、分かりやすい治療を心がけるために、できるだけお口の状態を知っていただくために、デジタル [口腔内カメラ](#) を用いて治療を行っています。口腔内カメラは細いスティックのような形状で、とてもコンパクトなので簡単に口の中の患部の撮影することができます。撮影した患部の画像は、治療台に備え付けのモニターに直ぐに映し出して、今まで分かりにくかった、口の奥や歯の凸凹などが簡単に見ることができます。患者さんは自分の口の撮影画像を見ながら説明を聞けるので、分かりやすく自分の口の状態をしっかりと理解することが可能になります。

撮影には治療費はかかりません。

口腔内カメラ 『 WAVE PICT プラス 』

このカメラは数歯までの近づいた撮影に使用しています。むし歯や歯肉の状態 治療の経過を説明に利用します。ヘッド部分が小さいため、狭いお口の中での操作性に優れているうえに、人の瞳のようにピント自動調整ならびに偏光プリズムレンズ採用で、撮影範囲、照度などを自動的に調整します。歯の細部から顔貌まで撮影範囲を選びません。撮影した画像をビデオ信号に変換するため画質が劣化せず、鮮明で高品質な画像を得ることができます。また手ブレのないきれいな静止画像を得意とするため、患者様はモニターで、ご自身のお口の中をカラーの鮮明画像でじっくりと納得いくまで観察して頂けます。